

安全データシート

版番号 8.5
改訂日 03.06.2023
印刷日 24.05.2024

1. 化学品及び会社情報

1.1 製品識別名

製品名 : Diethylene glycol butyl ether

カタログ番号 : 07-2960

ブランド : Katayama

CAS番号 : 112-34-5

1.2 他の特定手段

Butyldiglycol

2-(2-Butoxyethoxy)ethanol

1.3 推奨用途及び使用上の制限

特定用途 : 研究開発での使用のみ。薬事、家庭用その他の用途には用いない。

1.4 安全データシート作成者の詳細

会社名 : Sigma-Aldrich Japan G.K.
1-8-1 Arco Tower, Shimomeguro, Meguro-ku
TOKYO 153-8927
JAPAN
東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー
担当部門 : ライフサイエンス
レギュラトリーアフェアーズ

電話番号 : +81 (03) 6758-3625

FAX : +81 (03) 6756-8300

1.5 緊急連絡電話番号

緊急連絡先TEL : +81 (0)3 4520 9637 (CHEMTREC)

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分2A), H319

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H319

強い眼刺激。

注意書き

安全対策

P264

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P280

保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置

P305 + P351 + P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313

眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。

2.3 他の危険有害性 - なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：	化学物質
別名	：	Butyldiglycol 2-(2-Butoxyethoxy)ethanol
化学特性(示性式、構造式等)	：	C ₈ H ₁₈ O ₃
分子量	：	162.23 g/mol
CAS番号	：	112-34-5
EC番号	：	203-961-6
化審法官報公示番号	：	7-97
安衛法官報公示番号	：	2-(8)-99;2-(8)-317

危険有害成分

化学名	分類	含有量
3,6-ジオキサ-1-デカノール (2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール)		
	Eye Dam./Irrit. 2A; H319	100 %

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

泡 二酸化炭素 (CO2) 粉末

使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

可燃性。

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

5.3 消防士へのアドバイス

火災時には、自給式呼吸器を着用する。

5.4 詳細情報

消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確認する。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと
個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。
関係エリアを清掃のこと。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管条件

密閉のこと。

保管クラス

Katayama- 07-2960

ページ 4 の 13

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the US and Canada

MERCK

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 10: 可燃性液体

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

化学名	CAS番号	価値	管理濃度	出典
3,6-ジオキサ-1-デカノール (2-(2-ブトキシエトキシ)エタノール)	112-34-5	TWA	10 ppm	米国。ACGIH限界閾値 (TLV)

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

汚した衣類は替えること。本物質を扱った後は手を洗うこと。

保護具

眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) またはEN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

本推奨は、当社発行の安全データシート,に記載されている製品およびその指定の使用法のみに適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: www.kcl.de)

フルコンタクト

材質: ラテックス製手袋

最小厚: 0.6 mm

破過時間: 480 min

試験物質 : Lapren® (KCL 706 / Aldrich Z677558, Size M)

本推奨は、当社発行の安全データシート,に記載されている製品およびその指定の使用法のみに適用される。溶解、他の物質との混合、およびEN374に記載の逸脱条件での使用については、CE認証手袋のサプライヤに問い合わせのこと(例. KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, Internet: www.kcl.de)

飛沫への接触
材質: クロロプレン
最小厚: 0.65 mm
破過時間: 240 min
試験物質: KCL 720 Camapren®

要

身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要 次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387および使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基礎物理および化学特性の情報

- | | |
|----------------------------|--|
| a) 物理状態 | 液体 |
| b) 色 | 透明, 無色 |
| c) 臭い | 極めて僅か, 特徴的 |
| d) 融点 / 凝固点 | 融点/ 範囲: -68 °C - lit. |
| e) 沸点, 初留点及び沸騰
範囲 | 231 °C - lit. |
| f) 可燃性 (固体、気体) | データなし |
| g) 爆発下限界及び爆発上
限界 / 可燃限界 | 爆発範囲の上限: 6.2 %(V)
5.9 %(V)
爆発範囲の下限: 0.9 %(V) |
| h) 引火点 | 99 °C - 密閉式引火点試験 |

i) 自然発火温度	210 °C at 1,013 hPa - DIN 51794
j) 分解温度	データなし
k) pH	7 at 20 °C 中性
l) 粘度	動粘度 (動粘性率) : データなし 粘度(粘性率): 6.49 mPa.s at 20 °C
m) 水溶性	データなし
n) n-オクタノール / 水分 配係数 (log 値)	log Pow: 1 at 20 °C - 生物濃縮は予測されない。
o) 蒸気圧	40 hPa at 130 °C
p) 密度	0.967 gPcm3 at 25 °C - lit.
比重	データなし
q) 相対ガス密度	データなし
r) 粒子特性	データなし
s) 爆発特性	データなし
t) 酸化特性	なし

9.2 その他の安全情報

相対ガス密度	5.6 - (空気=1.0)
--------	------------------

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

10.3 危険有害反応可能性

次との反応で爆発のおそれ:

酸化剤

10.4 避けるべき条件

安定性不明の過酸化物を生成する可能性がある。

強力な熱

10.5 混触危険物質

アルミニウム, 軽金属

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合: 項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

LD50 経口 - マウス - オス - 2,410 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 401)

症状: 吐き気, 下痢, 息切れ

症状: おそれのある障害:, 粘膜の炎症

LD50 経皮 - ウサギ - オス - 2,764 mg/kg

(OECD 試験ガイドライン 402)

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 軽度の皮膚刺激 - 1 h

(OECD 試験ガイドライン 404)

備考: 製品の脱脂効果により、繰り返されたまたは長期間にわたる接触により、皮膚に刺激と発疹が起こります。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 強い眼刺激。 - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 405)

備考: (規則 (EC) No 1272/2008, Annex VI)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

マキシマイゼーション試験 - モルモット

結果: 陰性

(OECD 試験ガイドライン 406)

生殖細胞変異原性

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: ネズミチフス菌 (*S. typhimurium*)

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

方法: OECD 試験ガイドライン 471

結果: 陰性

試験タイプ: 変異原性(ほ乳類での細胞試験): 染色体異常。

テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

方法: OECD 試験ガイドライン 473

結果: 陰性

試験タイプ: in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞

代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在

方法: OECD 試験ガイドライン 476

結果: 陰性

試験タイプ: in vivo小核試験

種: マウス

細胞型: Red blood cells (erythrocytes)

投与経路: 経口

方法: OECD 試験ガイドライン 475

結果: 陰性

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - 90 d - 無毒性レベル - 250 mg/kg

備考: 亜慢性毒性

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 吸入 - 90 d

備考: 亜慢性毒性

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経皮 - 90 d - 無毒性レベル - 200 - 2,000 mg/kg

備考: 亜慢性毒性

RTECS: KJ9100000

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

慢性毒性:

全身への影響:

中枢系障害

めまい

傷害される部位:

肝臓

腎臓

十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性	止水式試験 LC50 - <i>Lepomis macrochirus</i> (ブルーギル) - 1,300 mg/l - 96 h (OECD 試験ガイドライン 203)
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	止水式試験 EC50 - <i>Daphnia magna</i> (オオミジンコ) - > 100 mg/l - 48 h (理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C.2)
藻類に対する毒性	止水式試験 ErC50 - <i>Desmodesmus subspicatus</i> (緑藻) - > 100 mg/l - 96 h (OECD 試験ガイドライン 201)

微生物毒性

止水式試験 EC10 - 活性汚泥 - > 1,995 mg/l - 30 min
(OECD 試験ガイドライン 209)

12.2 残留性・分解性

生分解性

好気性 - 曝露時間 28 d

結果: 約85 % - 易分解性。

(OECD テスト ガイドライン 301C)

理論上の酸素要求
(量)

2,170 mg/g

備考: (IUCLID)

BOD/ThBOD比

11 %

備考: (IUCLID)

12.3 生体蓄積性

生物濃縮されない。

12.4 土壤中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

12.6 内分泌かく乱性

データなし

12.7 他の有害影響

環境への放出は必ず避けなければならない。

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

Katayama- 07-2960

ページ 11 の 13

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the US and Canada

MERCK

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): - IMDG (海上規制): - IATA-DGR (航空規制): -

14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): 非危険物
IMDG (海上規制): Not dangerous goods
IATA-DGR (航空規制): Not dangerous goods

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): - IMDG (海上規制): - IATA-DGR (航空規制): -

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): - IMDG (海上規制): - IATA-DGR (航空規制): -

14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): 非該当
IATA-DGR (航空規制): 非該当

14.6 特別の安全対策

14.7 混触危険物質

アルミニウム, 軽金属

詳細情報

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法: 第4類:引火性液体, 第三石油類, 危険等級III, 水溶性液体

毒物及び劇物取締法: 非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防 非該当

規則:

有機溶剤中毒予防規 非該当

則:

名称等を表示すべき危 法第57条 (施行令第18条) - ジエチレングリコールモノブチルエーテル

険物及び有害物:

名称等を通知すべき危険物及び有害物: 法第57条の2 (施行令別表第9) - ジエチレングリコールモノブチルエーテル

化学物質排出把握管理促進法: 第一種指定化学物質, 2023年4月1日から - ジエチレングリコールモノブチルエーテル
非該当

16. その他の情報

-セクション 2 および 3 において言及された H-ステートメントの全文。

H319 強い眼刺激。

詳細情報

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

Copyright 2020 Sigma-Aldrich Co. LLC. により、社内限定使用以外の本書の複写を禁じています。弊社ブランド移行期のため、この文書のヘッダーやフッターのブランド名はご購入製品のブランド名と合わない場合があります。しかし、文書中の製品に関する情報は変わらず、ご注文の製品に合致します。詳細は、こちらまでお問合せください。 mlsbranding@sial.com.